

『手をつないで歩いていますか？』

このタイトルを見てどう感じましたか？園ではメリッサクラスからお散歩で手をつなぐ練習をしています。“まだ小さいみんなバギーに乗せて良いのでは？”と思われる方もいるかもしれません。ただ、保育園は集団で活動することも多いので、『手をつないで歩く』ことに慣れるのも必要です。特にメリッサの学年では“今日からみんな手をつないで歩くよ～！”と言っても、すぐ出来るわけではありません。子ども同士だと、『手をつなぐ』という意識がまだ薄いので、簡単に手が離れてしまうため、その都度職員が声をかけ、意識をもって歩けるように促しています。というのは、園での散歩は目的地で遊ぶだけでなく、その道中でも以下の内容を知ってもらう必要があるからです。散歩を通して、メリッサ時期から年長まで、“発達のつながりを持って保育”をしていきます。

① 前の人と詰めて歩く

列が長すぎると周りの人の迷惑になってしまいます。また何か起きた時、すぐに子どもを集め対応できるよう日頃から詰めて歩くことを伝えています。

② 交通ルール・マナー

横断歩道では必ず信号を見ます。青になったら「右見て左見て、もう一度右を見て」と車などが来ていないか自分達の目で確認してから渡ります。歩道では建物側を歩くように促し、自転車や通行人への配慮なども伝えています。

③ 周りへの気遣い

年下の友達との散歩では、歩幅を合わせたり、電柱などが前にあれば「気を付けてね」と声を掛けたり、相手のことも考える機会になっています。

【遊びを通して知らせよう】

- 手をつないでジャンプ遊び
- 子どもと遊ぶ時に“あくしゅしよう”と声掛け！

手をつなぐ＝行動を制限されてしまうと感じて手をつなぐのを嫌がることも・・・遊びの中で“手をつなぐ楽しさ”を伝えていきましょう

以前もコラムに書きましたが、私自身抱っこ紐派だったので、子どもが重くなったきっかけで歩かせるようにしていました。息子も最初は手をつなごうとすれば、その場にしゃがみストライキ。保育園の行き帰り全然進まない。強制抱っこの繰り返しでした。そんな毎日を送っていましたが、息子の園でも手をつないで散歩に行ってくれたお蔭で、いつの間にか手をつないでくれるようになりました。また交通ルール教えてくれていたので、そのルールを忠実に守っていた息子は行きも帰りも「前から車くるからママここでストップ！」「自転車もきているよー」と毎回声を掛けてくれ、逆に進まないなんて毎日でした。日頃から先生方が子どもに伝え続けてくれたお蔭で“自分自身の身の守り方”が身につけていった姿だと思っています。

ベビーカーがいけないわけではありませんが、目的地まで常に乗り物に乗ってしまうと、このように“自分で考える”機会は減ってしまいます。そのためにも、少しの時間でも良いので、“手をつないで歩く”“慣れる”ことを、ご家庭でも試してみてくださいね。（宝田）